

## 祝卒業 仙台城南高校第一期生

3月1日、平成27年度第53回卒業式が、多くのご来賓の方々や保護者の見守る中で厳かに行われました。本年度の卒業生は仙台城南高等学校の第一期生に当たり、335名が清れやかな表情で新たな活躍の舞台へ羽ばたきました。



校長 久力誠 先生

### 校長式辞

校長 久力誠

『うさぎ型の人は、うさぎのようなペースで生きるのがいい。うさぎのような能力を発揮するだろう。かめ型の人は、かめのようなペースで生きるのがいい。かめのような能力を発揮する。世の中には、さまざまな能力がある。なぜかといえば、さまざまな能力が「必要だから」である。

さまざまな能力が活動することによって社会は成り立っている。』（精神科医 斎藤茂太）本校は、茂太さんの言うように、一人ひとりが大切なこと、それぞれが個性を発揮することで宮城県随一の私立高校を目指してきました。みなさんは城南1期生として入学されましたが、2・3年の先輩と協力し、先頭立って新しい学校づくりを進めてくれました。例えば部活動では空手道が全国選抜で第2位、吹奏楽部が文部科学大臣賞金賞受賞、サッカー一部が県新人大会初優勝など素晴らしい成果を残しました。800人近い来場者で盛り上がった城南フェスティバルも忘れられません。

さて、多様な価値観と利害が複雑に交錯するグローバル社会で皆さんが活躍するために、本校では大学と接続して、ICT（情報通信技術）教育や、グローバル教育を展開する「21世紀型教育」を特進科、探究科、科学技術科それぞれの特性に応じて進めてきました。このような特色ある城南高校教育の原型は皆さんが実践を通して作ってくれました。人は皆、必要とされて生まれ、たった一度のその人限りの人生を送ります。3年間、何度も心に刻んでもらった「私たちは宮城県随一の私立高校生である」というプライドを胸に秘め、新たな人生にチャレンジして下さい。

結びに、1979年のノーベル平和賞受賞者、マザーテレサさんの言葉を贈って式辞とします。

God doesn't require us to succeed.

He only requires that you try.

神様は、私たちに成功することを望んでいるわけではありません。

ただ、挑戦することを願っているだけなのです。

Good Luck !

（抜粋：本校ホームページにも掲載）



板垣輝君

### 答辞

卒業生代表 板垣 輝

探究科 富沢中出身

3年前、皺ひとつ無い制服に袖を通し、期待と不安と新しい出会いに胸を膨らませながら、私たちは仙台城南高等学校に入学しました。私たちは「城南一期生」といわれ、城南の「土台作り」が期待されました。「土台作り」は言うほど簡単ではなく、iPadを使った新しい授業をはじめ「工大高」に入学した先輩達との関係など、越えなければならぬ「壁」があるように思えました。それでも、私たちは自らの誇りとこれから入学してくる後輩のために一期生として仙台城南高校をつくってきた結果、卒業前にやっと土台がしっかりしてきたことを実感できるようになりました。Keynote やイラストレーターといったツールを使いこなし、ICT教育の学びはこうだと胸を張って言えるようにもなりました。何より嬉しかったのは「仙台城南」という名が世間でも通じるようになったことです。生徒一人ひとりが城南生としての自覚を持ち地域に学校をアピールしてきたことも校名を広める大きな要因だったと思います。私たちの3年間は「土台作り」のみで終わったわけではありません。自分たちを支える価値観や信念を城南で見つけてきました。それは「柱」と言ってもいいかもしれません。それは「信頼」「責任」「伝える力」です。特に「伝える力」はグローバル社会に必要な不可欠なものになっていくでしょう。しかし、私にとって一番大事だったのは「絆」という柱でした。1期生としての「土台作り」は、一人ではできなかったことです。仲間や先生と協力しながら作り上げた経験はこれから先、人生の色々な場面で私達の力となるに違いないと信じています。

私たちがこれまで頑張ってきたのは先生方のおかげです。城南に入学して先生方に出会わなければここまで成長できませんでした。そして、18年間見守ってくれた両親には感謝の気持ちでいっぱいです。

最後になりますが、母校の今後ますますのご発展と隆盛を私たち卒業生一同、心よりお祈り申し上げ、答辞と致します。



<校長式辞>



<送辞> 赤井澤朋美  
探究科2年蒲町中出身



<答辞> 板垣輝君  
探究科 富沢中出身



<3学年担任の先生方>

# 城南第一期生進路

# 進化した学びのその先

## 東北大学 教育学部 合格

先生を信頼して急成長、栄冠をつかむ



我妻亜耶さん

特進科

2016年3月卒業  
大河原中出身

### C判定から合格圏へ！

2年の初め、東北大の教育学部に目標を定めたものの、当時の模試はC判定。先生の指導に沿って勉強すると不思議なほど成績が伸び、夏休みにはA判定。その後も順調で塾も必要ありませんでした。普段顔を合わせる先生と勉強できるので安心感がありました。本当に感謝でいっぱいです。

## 東北工業大学 ライフデザイン学部 合格

内部推薦制度で東北工業大学へ



鈴木拓真君

科学技術科

2016年3月卒業  
向洋中出身

### もっとデザインを学びたい！

将来の夢はプロダクトデザイナー。3年次、応募したデザインが工業系専門誌「工業教育」の表紙に選ばれデザインする喜びを強く感じ、より深く学ぶため、東北工業大学への進学を選びました。2年次のアカデミックインターンシップで大学の学びを体験できたことや、内部推薦制度のスタートも進学を決め手になりました。

## <探究学習の強化> 探究科「生物基礎」



八木山動物公園にて実習する柳沼優君(右端)  
探究科2年八木山中出身

探究科「生物基礎」の授業の一環として、八木山動物公園で、猿などの様々な動物の行動を観察しました。色々と観察するうちに面白くなり、漠然と動物を見るのとは違って深く動物のことを調べ、今後も継続的に観察したいと思いました。

## <新モンゴル高校生徒来校>



<新モンゴル高校の生徒と久力校長(右)>

3月10日、新モンゴル高校生徒18名が来校しました。昨年10月に本校の久力校長が新モンゴル高校15周年の創立記念日に招待され講演したことが大きなきっかけとなって本校訪問が実現しました。本校の生徒と交流し、両国の友好親善と相互理解を推進する機会となりました。

## <みやぎ高校生マナーアップポスター最優秀賞>



渡邊俊介君

科学技術科

情報デザイン2年  
仙台中田中出身

「マナーアップ全般」ポスターデザイン部門の最優秀作品に選ばれました。私のデザインしたポスターが、少しでも宮城県の高校生のマナーアップに貢献できれば幸いです。みなさんも今一度、マナーについて考えてみましょう。



2016年度  
最優秀作品  
(渡邊俊介君の作品)

## <台湾地震被災者支援募金>



<宮城県観光連盟職員と>

2月6日に台湾南部で起きた地震では、多数の死傷者が確認され、特に台南市郊外で倒壊した16階建てのマンションで多くの方が亡くなりました。

本校生徒会としましては、これまで交流してきた台湾の生徒や、東日本大

震災において多大な義援金をご寄付いただいた台湾への恩返しを込めて、怪我をされた方々のご回復と避難所生活を余儀なくされている方々のために、災害被災支援募金に取り組んだ結果、義援金は93,859円集まり、宮城県観光連盟にお届けしました。

学校法人 東北工業大学



# 仙台城南高等学校

特進科

探究科

科学技術科

[発行元・お問い合わせ先]

仙台南高等学校 広報室

〒982-0836 仙台市太白区八木山松波町5番1号

Tel: 022-305-2111 (代表) Fax: 022-305-2114

ホームページ: <http://www.sendai-johnan.ed.jp>



城南HP トップ